

2 介護サービス基盤の整備

I 日常生活圏域の設定

地域における住民の生活を支える基盤には、従来のような保健・福祉や医療関連の個々の施設を整備する「点の整備」だけではなく、身近な生活圏域に住まい、他の公共施設、交通網、さらにはこうした地域資源を繋ぐ人的なネットワークなどの様々なサービス拠点が連携する「面の整備」が求められてくるとともに、地域住民が様々な担い手として参加し、コミュニティの再生や新たな公共空間の形成が図られることで、住み慣れた地域での生活継続が可能となるような基盤整備が必要になってきます。

このため、これまでの住民の生活形態、地域づくり活動の単位など社会的なつながりを考慮し日常生活の基盤として合併前の旧市町の「能代地域」「二ツ井地域」の2箇所の日常生活圏域を設定します。

今後は、この圏域単位で必要とされる各サービスの利用見込量を定めるとともに、地域に密着した施設整備事業の展開を推進します。

H17. 10. 1

| | 日常生活圏域 | | 計 |
|----------------------|---------|---------|---------|
| | 能代地域 | 二ツ井地域 | |
| 面積(km ²) | 245. 34 | 181. 40 | 426. 74 |
| 人口(人) | 52, 792 | 11, 770 | 64, 562 |
| 高齢者人口(65歳以上) | 14, 210 | 4, 165 | 18, 375 |
| 高齢化率(%) | 26. 92 | 35. 39 | 28. 46 |

II 地域密着型サービスの創設

要介護者等の住み慣れた地域での生活を24時間体制で支えるという観点から、日常生活圏域内にサービス提供拠点を確保し、基本的に能代市民を対象としてサービスを提供するものです。

○地域密着型サービスの種類

- 1 夜間対応型訪問介護
- 2 認知症対応型通所介護
- 3 小規模多機能型居宅介護
- 4 認知症対応型共同生活介護
- 5 地域密着型特定施設入居者生活介護
- 6 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護